

日韓トンネル勉強会のお知らせ

1981年11月10日、第10回 I C U S (=科学の統一に関する国際会議)において文鮮明先生は国際ハイウェイ構想と日韓トンネル建設を提唱されました。この構想が発表されて32年。アジアの平和を保つとともに経済発展をもたらし、かつ、日本の平和と興亡の命運を切り拓く日韓トンネル建設の必要性が今、最大限に高まっています。

そこで、本県においても建設推進運動を展開して参りたく、まずは日韓トンネル構想のもつ平和思想をよく学び、さらに建設事業の現状と方向性をよくお聞きするため、現場を最もよく知っておられる大江理事長をお迎えし勉強会を開催する運びとなりました。つきましては、万障お繰り合せの上ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

日 時：2013年9月28日(土)

受付16:30 開催17:00～19:30

場 所：さいたま市 鈴谷公民館 2階大会議室

さいたま市中央区鈴谷7-5-11

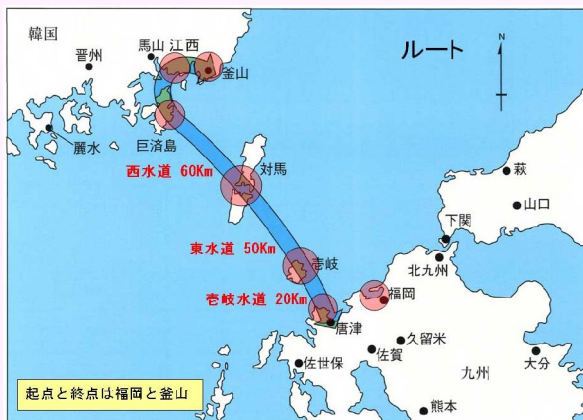
JR埼京線与野本町駅より歩15分

講 師：国際ハイウェイ財団 大江益夫理事長

参加費：1000円

主 催：世界平和連合埼玉県連合会

共 催：日韓トンネル建設推進埼玉県民会議結成準備会



お知らせ

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の御父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、ビジョン 2020 勝利のための「第一次 40 日特別精誠路程」
 - (1) 期間:2013.9.2～10.11(40 日間)
 - (2) 祈祷題目
 - 真の御母様と真の御家庭の安寧のために
 - 真の御父母様の絶対的心情の相対に立つ
 - ビジョン 2020 日本摂理の 2013 年の目標完遂
 - 新氏族的メシヤの使命完遂と理想家庭実現のために
 - 二世圏に対する信仰化教育と未来指導者養成の強化
 - (3) 精誠条件
 - ・全食口同参、1 食口 3 名伝道、1 名或いは 1 組祝福へ
 - ・年間目標 6 万名伝道の勝利を果たす
 - ・2013 世界貢献摂理の年間勝利に向けて

★浦和教会では以下の通り祈祷会とリレー断食を行います

精誠祈祷会

日	月	火	水	木	金	土
礼拝	17:00	20:00	17:00	17:00	21:00	17:00

リレー朝食断食

日	月	火	水	木	金	土
栄光	勝利	心情	新エデン	忠孝	解放	壮年

3、VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会

日 程：期間は 5 泊 6 日で、毎月 2 回実施

第2回:2013年10月3日(木)～10月8日(火)

第3回:2013年10月17日(木)～10月22日(火)

第4回:2013年10月31日(木)～11月5日(火)

場 所：天宙清平修練苑 修練会参加感謝献金:3 万円

参加対象：区域長、区域長候補(東埼玉5名)

4、新規セミナー(毎週水曜日 10:30～)

田川敏講師による新規向けセミナーを毎週開催いたします。

5、第5回健康講演会

日時:9月27日(金)10:30～

場所:浦和サロン

6、日韓トンネル勉強会

日 時:2013年9月28日(土) 受付16:30 開催17:00～19:30

場 所:さいたま市 鈴谷公民館 2階大会議室

7、天運相続特別1DAYセミナー

日時:10月1日(火)10時開場、11時開演

場所:さいたま市文化センター大ホール

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：田川敏教育部長
司会者：赤岩弘一伝道部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 天一国の歌	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	山崎秀隆
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	家庭救援の時代	
※讃 頌 聖歌 19番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

神様が6000年間復帰摂理をされたのは、一国を取り戻す前に、あるいは民族と教会を取り戻す前に、家庭を取り戻すためでした。すなわち、御自身の相対を求めて家庭を取り戻すことだったのです。一国が形成されるためには、家庭がなければなりません。したがって、全体の根本が家庭です。イエス様も、4000年歴史の基盤の上で、家庭をつくらなければなりませんでしたが、家庭の根本となるエバ、すなわち新婦を探すことが出来ませんでした。また、信仰の息子、娘である三弟子を立てましたが、彼らがカイン的な立場で、イエス様の直系の息子、娘に侍ることができず、蘇生、長成、完成、この三時代を代表して、カインが反対したことを家庭的な基準で蕩滅復帰できる基準を立てることができなかつたので、イエス様は死んでいかれたのです。

今までの宗教は、個人救援を標準にしましたが、今後、新しい時代に、世界が好み、神様が立てることができる宗教は、家庭を救援することができる宗教でなければなりません。男性一人だけが救われていけば、女性は全て従っていきます。また、女性が全て蕩滅するようになれば、男性は全て従っていくようになります。言い換えれば、女性の言葉に生命を投げ出し、死ぬほど信じる男性は、天国に行くのです。また、男性の言葉を絶対的に信じる女性も、天国に行きます。

～「天聖經」第二編真の父母 第二章真の父母メシア～

統一運動

124家庭祝福結婚50周年金婚式おこなわれる

1963年7月24日祝福された124家庭の聖婚50周年金婚式が天一国元年天曆7月27日(陽曆9. 2)東草パインリッジリゾートにおいて世界平和統一家庭連合主催で行われた。チョ・マヌン家庭局長の司会で進行された。

1部金婚式は、
開会宣言、
天地人真の父母様敬拝、天一国国歌斉唱、
イ・サニン前家庭会長の報告祈禱、
ケーキカット、祝辞、挨拶
の順に進行された。

36家庭であるキム・チャンギョン会長、パク・ノヒ財団理事長の祝辞に続き、124家庭の子女を代表してユ・ギョンソク協会副協会長が金婚50周年をお祝いして感謝の挨拶を伝えた。また124家庭を代表してナム・イヒョン会長が挨拶を伝えた。梁昌植総会長が124家庭金婚式のお祝いの言葉を述べ、祝禱をした。

1部金婚式行事の後、2部の行事は家庭会総会で行われた。

